

コード	304010101
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	小瀬良 崇

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	放課後児童クラブ等育成支援事業
----------	-----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040101	事務事業名称	児童福祉総務管理事業費	細目コード	253
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町放課後児童クラブ等育成支援事業振興補助金要綱	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 児童人口		(対象指標1) 3,387人						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・放課後児童クラブ等育成支援事業補助金を交付した。 →補助金 2件 4,053千円		*****	*****	*****	補助実施件数÷ 補助対象件数	*****
				①	補助金交付件数	2件	100%	平成23年度
				(達成率分析)	2件中1件が国庫補助、1件が県補助の交付基準を満たし補助金を交付することができた。			
				②				
				(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				*****	*****	*****	利用登録者数÷ 利用申請者数	*****
				①	利用登録者数	48人	100%	平成23年度
				(達成率分析)	利用希望者は待機することなく利用できている。			
				②				
				(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	9	9	7	2	2				
	②									
成果指標	① 人	154	154	106	48	48				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	99,705	99,705	83,752	15,953	15,953				
直接事業費 A	千円	16,405	16,405	12,352	4,053	4,053				
人件費 B	千円	83,300	83,300	71,400	11,900	11,900				
内訳	従事職員数	人	11.9	11.9	10.2	1.7	1.7			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	4,852	4,852	2,170	2,682	2,682			
	県補助金	千円	1,877	1,877	1,862	15	15			
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	92,976	92,976	79,720	13,256	13,256				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	次世代育成支援行動計画どおり成果をもたらしている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	放課後の健全育成対策については、今後も教育委員会と連携し協議していく。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行う事業である。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	必要最低限の直接事業費であり、削減は難しい。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	次世代育成支援行動に基づき児童の安心・保護・育成のため今後も支援していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。